

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	セーボネス		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2026年2月13日		2026年2月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの発達に合わせた活動：見通しを持って活動に参加出来るように一日の流れを全体や個別に伝えと共、可視化しています。	子ども達が安心して活動に参加出来るように、発達や個性に合わせた活動の設定をしました。その際、見通しを持てるようにスケジュールの見やすさや声のトーン、大きさに留意しました。	子どもたちが安心して楽しく意欲を持って参加できるように、活動に興味を持てるような設定を計画して工夫を行います。
2	保護者支援：保護者の方と事業所内相談、電話やメール、グループカウンセリング、個別カウンセリングなどを行い、家庭での困り感を傾聴しています。	クラスでのおおさんの様子を伝えたり、家庭での様子を共有して、保護者の不安や心配事を聞き、必要な支援に繋げました。保護者同士が繋がるように支援をしています。	グループカウンセリングに参加出来る方が少なかったため、お便り以外でも参加の呼びかけを行っています。面談などを通して、保護者が安心して話せる関係作りを今後も心掛けていきます。
3	職員研修、人材育成：法人研修、年代別研修や朝研修、講師を招いて多岐に渡って研修を行っています。	法人研修や朝研修、年代別研修や内部の研修が充実しています。研修に参加する事で、現場の療育に活かせる事や、自己研磨に励み、専門性を高めました。	各研修に参加後、クラス会議なインフォーマルな会話等で、コミュニケーションを図って、学んだことの共有を図れるように努めています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	HPなどで活動を公表していますが、保護者に投稿したことをお知らせする機会を持ってないことがあります。活動など幅広く知っていただく為にもおたよりなどで周知していきます。		面談やグループカウンセリングで保護者と話をするときに、HPの紹介やアクセス方法等をお伝えしていきます。
2	地域の子どもたちとの交流が少ないです。地域の公園や公共の場では地域の子どもたちと一緒に遊ぶことがあります。地域の行事に参加する等は行ってない為、地域の子どもたちとの交流は少ないです。	感染症の流行等があり、地域での交流の時間が持てないことがあります。	地域の公園等では、大人が地域の子どもたちとクラスの子供たちの仲介をしながら、関わりを大切にしています。
3			